

2009年9月8日

在香港日本総領事館

プレス・リリース「若井節子氏、様々なメディアを通じた日港間の相互理解促進により外務大臣表彰を受賞」



9月4日(金)、平成21年度外務大臣表彰伝達式が在香港日本国総領事公邸において開催され、広告等様々なメディアによる香港への日本文化発信等を通じて日本と香港の間の相互理解の促進に寄与したことを理由として、岩井節子・B&Wファーイースト社(B&W-Far East Publicity Ltd.、日港一遠東宣伝有限公司)董事長が表彰された。

若井氏は、昭和47年(1972年)に香港で広告代理店を起業して以来、日本ドラマの紹介、初の大相撲香港巡業、「日本ー香港フラワーアート」の企画・運営等、日本文化を幅広く香港社会に紹介するとともに、香港公益会(コミュニティ・チェスト)への参加等を通じて香港社会に対する慈善活動に積極的に従事し、40年近くに亘って日本・香港の交流促進に大きく貢献してきた。

1. 若井氏の略歴

1971年(昭和46年)に香港に渡り、翌1972年(昭和47年)に広告PR会社「B&Wファーイースト社(B&W-Far East Publicity Ltd.)」を起業。1990年(平成2年)、香港公益会(コミュニティ・チェスト)の活動に参画(現職は理事)。1994～5年(平成6～7年)、湾仔ロータリークラブ総裁(現職は理事)。

2001年(平成12年)10月には、日本・香港のビジネス文化に係る相互理解の増進及び香港社会に対する慈善事業が評価され、日本人として初めて香港政府より荣誉勲章(メダル・オブ・オナー)を授与された。

2. 日本・香港間の文化交流を促進

若井氏は、40年近くの長きに亘って、広告・PR、イベント業等を通じて、日本の文化を香港の日常社会に根付かせる上で多大な貢献を果たした。例えば、1980年代に、日本ドラマ「渡る世間に鬼ばかり」<冷暖人間、The OKAKURA Family>を香港地上TVネットワークの放映に関与するなど、日本ドラマの香港放映の先駆けとなった。伝統文化の交流の面でも、1993年（平成5年）には初の大相撲香港巡業（SUMO in Hong Kong）、流派を超えて生け花を香港人に紹介する「日本－香港フラワーアート」（毎年開催）にも関与、日本文化を香港社会に広く紹介した。

3. 日本・香港コミュニティー間の橋渡し役を務める

また、若井氏は、長年の香港在住の間、香港日本人倶楽部における活動や、多数の日系企業・機関が集まり、香港各界トップと直接意見交換を行って香港や中国の諸事情の理解を深める場である「21世紀会（Century 21）」の世話役を同会創設（1992年）以来務めるなど、香港社会と香港の日本人コミュニティーの間の橋渡し役を務めてきた。

【参考】外務大臣表彰とは

外務大臣表彰は、多くの方が国際関係の様々な分野で御活躍され、我が国と海外との友好親善関係の増進に多大な貢献をされておられる中で、特に顕著な功績のあった個人及び団体に贈られる。平成21年度は日本国内・海外を合わせて個人67名、25団体が表彰された。

香港関係者のこれまでの表彰実績は以下のとおり。若井氏は昨年（平成20年度）の池ヶ谷和夫氏に続いて、4人目の表彰。

S 6 3	(1998)	Tai, CHEN	(香港)	会社社長
H 1 1	(1999)	岩見武夫	(日本)	香港柔道館館長
H 2 0	(2008)	池ヶ谷和夫	(日本)	香港日本人倶楽部理事

関連リンク

外務省ホームページ：http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/21/7/1193704_1102.html